

# 決算特別委員会の概要

令和3年度の決算認定議案は9月定例会において、決算特別委員会に付託されました。同委員会は10月11日から14日までの4日間で開催し、決算の認定他16件の審査を行いました。

## ―委員長報告より―

令和3年度の本市の経済は、緊急事態宣言解除により、上向き傾向がみられたものの、長期化する新型コロナウィルス感染症の影響などにより、厳しい状況となりました。

依然として、少子高齢化が進むとともに、若年層や外国人住民の転出超過も加わり人口減少が続きました。

そのような中、市の財源は減少する一方、高齢化の進行に伴う社会保障費等の負担増加や、先の見通せない新型コロナウイルス感染症への対策事業に係る支出が増加するなど、大変厳しい状況でありましたが、デジタルファースト宣言に基づき取り組みの実行及び長期総合計画に掲げる将来像の実現に向けた、各種事業が実施されました。

## 議85 一般会計歳入歳出決算の認定

### 【主な質疑の内容】

#### シティプロモーション事業

**問** 誰に向けて、何を目的に行っているのか。

**答** 令和3年度から5年度を計画期間とし、初年度は、まず、市内ヘシティプロモーションの取り組みを広げることとを重視した。

多くの市民や企業を巻き込みながら、「みんなで創るまち三原」プロジェクトに取り組んでいる。

#### 経済循環調査の結果

**問** 市外調達を市内調達に切り替えるべきでは。また、事業者のデジタル化や、環境配慮型設備への投資ニーズにどう対応するのか。

**答** 市内調達に切り替えることにより、市全体に経済波及効果が見込めるとの調査結果がある。方策を検討したい。デジタル化や環境配慮型設備については、どのようなサポートができるか、引き続き検討したい。

#### 虐待防止事業

**問** 児童虐待の件数や育児・しつけに関する件数が、前年度より増えているが、その要因は何か。

**答** 面前DVが増えたことが、通告件数が増えた要因と認識している。また

分類方法が変わったことが、育児やしつけに関する相談件数の増加につながったものと考えている。関係各所と連携を取りながら、ていねいな対応が必要と考えている。

#### 地域医療体制推進事業

**問** 病院の統合について、円滑に進むよう費用等を補助したようだが、その成果はどうか。

**答** 電子カルテの統合など、現在はスムーズに運用されている。発熱外来の拠点としても順調に推移している。また消化器センターを設置することができ、内科は4つから7つに増えた。さまざまな成果があったと考えている。

#### 「うまいぞ！みはら」給食事業

**問** 実施回数や、地場産品の活用の有無はどうか。また、手作りの給食であることの周知方法は。

**答** 年1回実施している。調味料を除く全てを三原産で調達している。授業の中で、給食で使った食材に関することを学んだり、生産者の姿など、現地の様子を動画で共有するなど、総合的に取り組んでいる。



学校給食

#### 中小企業支援事業 (Fuku-Biz)

**問** 市内企業からの相談件数と市内企業へのPR方法はどうか。

**答** 14事業者、延べ114件の相談があった。PRについては、市の広報誌や商工団体を介して会員の事業者に対し、利用案内のチラシや無料相談会などの開催案内を送付するなど、周知を図った。

#### ブロック塀等の安全対策補助事業

**問** どのような流れで申請に至るケースが多かったか。補助率はどうか。

**答** 指導対象となるブロック塀を抽出し、改善をお願いした。その流れで14件のうち10件は改善に至った。補助率は一定の条件を満たすものを対象に、費用の3分の2を補助。撤去の場合は15万円、建て替えの場合は30万円を上限とした。

#### 自主防災活動補助事業

**問** 自主防災組織の組織率が向上しない理由は何か。

**答** 自主防災組織の設置の必要性を感じているものの、担い手不足が組織化を阻んでいると感じている。アンケートなどで地域の実状を把握した上で設置に向けた支援を行っている。

【反対討論】議第85号について、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が市民生活を脅かす中、一定の支援はしているものの、充分な対応とは言えない。評価できる点もあるが、総じて市民の立場に立った財政運営ではなかった。

【賛成討論】シタイププロモーションの推進や、新型コロナウイルス接種事業、また、市民生活の安心・安全及び、事業者を守るための施策の着実な実施、さらに実質収支の黒字など、財政の健全性が保たれているので全ての議案に対し賛成する。

【採決】議第85号は賛成多数、残りの16件は全員一致、各決算は認定すべきものと決した。

## 第7回臨時会(11月7日)

### 補正予算特別委員会

一般会計補正予算(第4号)

#### 【主な内容】

◎マイナポイント第2弾のマイナンバーカードの申請期限が令和4年12月31日まで延長したことにより、申請支援拡充及び交付枚数増加にあわせ体制を整備：5640万円追加

◎国の物価・賃金・生活総合対策として、家計への影響が特に大きい住民税均等割非課税世帯等に対し、1世帯当

たり5万円を給付：7億2600万円追加

【討論及び採決】マイナンバーカード交付の申請期限を延長することには賛成できない、との意見表明があったが、起立採決の結果、賛成多数をもって、原案どおり可決した。

## 第8回定例会

12月定例会は、12月6日から20日までの15日間で開催し、一般会計補正予算他19件、継続審査案件17件を審議し議決しました。

また、2件の発議は原案どおり可決されました。

### 補正予算特別委員会

議103 一般会計補正予算(第5号)

#### 【主な内容】

◎原油価格の高騰等に伴い、直接的な影響を受けている中小事業者に対し支援金を給付し、事業の継続を支援：1億1015万円を追加

◎妊婦・子育て家庭に対し、出産育児関連用品の購入費用などの経済的負担の軽減を図る。：6420万円を追加

◎田野浦幼稚園と宗郷保育所を統合し、現在休園している田野浦幼稚園を令和6年4月1日に認定こども園として開園するために必要な改修の設計業務の委託：880万円を追加

#### 【主な質疑の内容】

### 子育て世帯応援給付金事業

問 年末年始の給付に向け、事務量増が予想されるが、適切な職員配置を考えているのか。

答 就学援助費や児童扶養手当を受給している世帯を対象としていることから、給付に必要なデータ等は把握できているため、対象者からの受給申請は必要ない。簡易な事務作業などは生じるものの、大きな事務負担は生じないと考えている。

### 駅前放課後児童クラブ移転事業

問 元市民福祉会館の閉鎖後、当該放課後児童クラブの移転先としてどのような場所を検討してきたか。

答 現在、児童館「ラフラフ」を設置しているペアシティ三原西館2階フロアも検討したが、ラフラフは多くの方に利用されており、スペース上の課題があった。その後、小学校の空き教室や民間貸し室などを検討したが、諸条件を満たす元ゆめきやりあセンターを移転先とする方針を決定した。

問 ペアシティ三原西館の上層階にある使われていないスペースの活用は検討しなかったのか。

答 現在、使用されている貸し室なども検討したが、送迎用の駐車スペース確保や放課後児童クラブ設置に必要な

採光の基準がクリアできないなど諸課題があり、困難と判断した。

議104 土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)

◎関係地権者との移転交渉が見込みより進展したことに伴い、測量・調査・設計委託料及び物件移転補償費を追加：1千万円追加

議105 国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(第1号)

◎一般被保険者療養給付費の一人当たりの支給額が見込みより増加したため：3億8110万8千円追加

議106 水道事業会計補正予算(第2号)

◎電力の原料価格高騰による電気料金の値上げ、令和5年度から水道広域連合企業団に移行の準備：3302万3千円の追加

【討論】議第103号について反対の立場から、子どもたちの安全・安心な居場所として駅前放課後児童クラブを元ゆめきやりあセンターに移転させることは、子どもたちの将来や日常生活の面からも、ふさわしいとは思えない。との意見表明があった。

【採決】議第103号は、起立採決の結果、賛成多数をもって、残余の3件については、全員一致で原案どおり可決した。

※それぞれの本会議での採決は14ページに記載